

平成 27 年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業  
 (発達障害早期支援研究事業)  
 成果報告書 (概要版)

実施機関名 (大田区教育委員会)

1. テーマ

「発達障害の可能性のある児童に対する早期支援及び課題解決を目指す RPDCA サイクルの確立」～短期目標を明確にした指導・支援プログラムの開発を通して～

2. 問題意識・提案背景

本区では、平成 28 年度から区内全公立小学校に特別支援教室を設置することにより、発達障害の可能性のある児童に対する支援体制を構築することを目指している。

そこで、本研究において、専門家による指導助言を踏まえながら、複数のアセスメントを活用し、発達障害の可能性のある児童の不応答等をその発達段階において可能な限り早期に把握し、指導支援するとともに、通常の学級における発達障害がある児童への配慮を踏まえた授業改善、効果的な施設・整備の在り方についての研究を進めることとした。

3. 指定校について

(小学校)

指定校名：大田区立入新井第二小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	102	3	90	3	96	3	99	3	87	3	73	2
特別支援学級	0		3		6		2		6		2	
通級による指導 (対象者数)	0		2		1		1		1		0	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	24	1	3	1	1	0	1	0	33	

※特別支援学級の対象としている障害種：情緒障害等通級指導学級設置校

指定校名：大田区立大森第四小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	96	3	102	3	96	3	105	3	99	3	135	4
通級による指導 (対象者数)			3		1		1		2		1	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	23	1	3	0	1	1	2	0	33	

指定校名：大田区立中富小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	27	1	32	1	35	1	27	1	28	1	24	1
通級による指導 (対象者数)	0		0		1		0		1		0	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	9	1	1	1	1	2	1	1	19	

指定校名：大田区大森第一小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	84	3	63	2	83	3	86	3	87	3	83	3
通級による指導 (対象者数)	1				1		3					
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	22	1	6	1	1	3	1	6	43	

指定校名：大田区立田園調布小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	82	3	95	3	90	3	136	4	112	3	100	3
通級による指導 (対象者数)											1	
	校長	副校長	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	23	1	5	1	2	2	2		38	

指定校名：大田区立調布大塚小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	31	1	41	2	37	1	40	1	35	1	36	1
通級による指導 (対象者数)	0		1		0		1		1		1	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	10	1		1	1	2	1		18	

指定校名：大田区立雪谷小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	121	4	118	4	101	3	101	3	113	3	93	3
特別支援学級	4		5		4		5		4		5	
通級による指導 (対象者数)	0		1		1		2		2		2	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	29	1	5	1	1	2	2		43	

※特別支援学級の対象としている障害種：知的障害固定学級設置校

指定校名：矢口小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	108	4	109	3	84	3	99	3	84	3	92	3
通級による指導 (対象者数)	2	2	2	1	2	2	2	2	1	1	2	1
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	23	1	6	1	2	1	2	4	42	

指定校名：大田区立矢口西小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	94	3	123	4	132	4	153	4	161	4	135	4
通級による指導 (対象者数)							2		2		4	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	27	1	5	1	1		2	1	40	

指定校名：大田区立多摩川小学校												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	92	3	79	3	85	3	94	3	96	3	91	3
通級による指導 (対象者数)	2		1		4		0		2		1	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	23	1	4	1	1	2	1	3	38	

#### 4. 指定校における取組概要

##### ①目的・目標

複数の段階的なアセスメントを活用し、発達障害の可能性のある児童の不応答等をその発達段階において可能な限り早期に把握し、巡回指導教員等による巡回指導を活用した効果的な指導・支援体制を構築すること、教員の意識改革を図り、指導員等の専門性の向上を図るとともに、学級担任等の通常の学級における発達障害の可能性のある児童への配慮を踏まえた指導・支援の質を高めることを目的とした。

##### ②学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒の明確化

本研究で作成した大田区特別支援教室児童実態把握票を活用するとともに、多層指導モデルMIMを活用したMIM-PMによるアセスメントを実施した。

##### ③学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容

- ・通常の学級における授業の指導方法の工夫内容

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを目指し、焦点化・視覚化・共有化のユニバーサルデザインの3つの視点を具体化するとともに、多動傾向のある児童・落ち着きのない児童、こだわりの強い児童・マイペースな児童、理解に時間がかかる児童など、タイプごとに授業における個に応じた手だてを明確化した指導方法を工夫した。

- ・個別の指導における指導方法の工夫内容

特別支援教室モデル校において、大田区特別支援教室指導事例集やオリジナルの教材等を使用し、行動面（多動性—衝動性）で困難を示す児童に対する指導方法等の改善・工夫を行った。また、発達障害支援アドバイザーが、それぞれの巡回校において、指導助言等により、巡回指導教員等の専門性の向上を図った。

##### ④ 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容の妥当性の評価手法

運営協議会を開催し、研究指定校における事例報告・実践報告を基に、「指導・支援の内容・方法の質的向上」、「早期支援・支援体制の整備の充実」、「教員の指導力向上」の観点で事業の取組について協議し、外部委員の医師、学識経験者及び内部委員から妥当性について御意見をいただいた。

#### 5. 主な成果

- ・指定校において、本研究事業の指導内容・指導方法等検討部会で作成した大田区特別支援教室児童実態把握票を活用するとともに、多層指導モデルMIMを活用したMIM-PMによるアセスメントを実施したことにより、学校全体で、定性的・定量的な児童の実態把握が可能であることが分かった。
- ・指定校において、ユニバーサルデザインの視点を取り入れたことにより、通常の学級における授業の中で焦点化・視覚化・共有化の指導方法の工夫を手だてとした授業研究を行い、日常の授業においても指導の工夫が図られた。
- ・指定校において、特別支援教室の巡回指導教員による児童への個別の指導が、通常の学級における個別の指導に連動させることにより、児童の行動面の困難さが克服されるケースが見られた。

## 6. 今後の課題と対応

- (1) 複数の段階的なアセスメント導入のための実践及び検証
  - ・大田区特別支援教室児童実態把握票及び多層モデルM I Mを活用した効果的なアセスメントの実践による成果検証
  - ・タブレットP Cを活用した巡回指導教員による効果的な指導内容・指導方法の工夫の検証
- (2) 研究指定校・モデル校における学習面又は行動面で困難を示す児童に対する指導内容・指導方法の検証
  - ・指導方法等の工夫・改善及び指導モデルの開発
  - ・タブレットP CなどI C Tを活用した効果的な指導内容・指導方法の工夫
- (3) 効果的な指導を行うための指導事例集・資料集の活用及び指導方法等の開発
  - ・大田区特別支援教室指導事例集・資料集の活用による効果的な指導内容・指導方法の工夫の検証
  - ・複数の段階的なアセスメントを活用した研修、報告書の配布・報告会の実施等による研究成果の還元

## 7. 問い合わせ先

組織名：

- |             |                        |
|-------------|------------------------|
| (1) 担当部署    | 大田区教育委員会事務局教育総務部指導課    |
| (2) 所在地     | 東京都大田区蒲田 5-13-14       |
| (3) 電話番号    | 03(5744)1435           |
| (4) FAX 番号  | 03(5744)1665           |
| (5) メールアドレス | sido@city.ota.tokyo.jp |